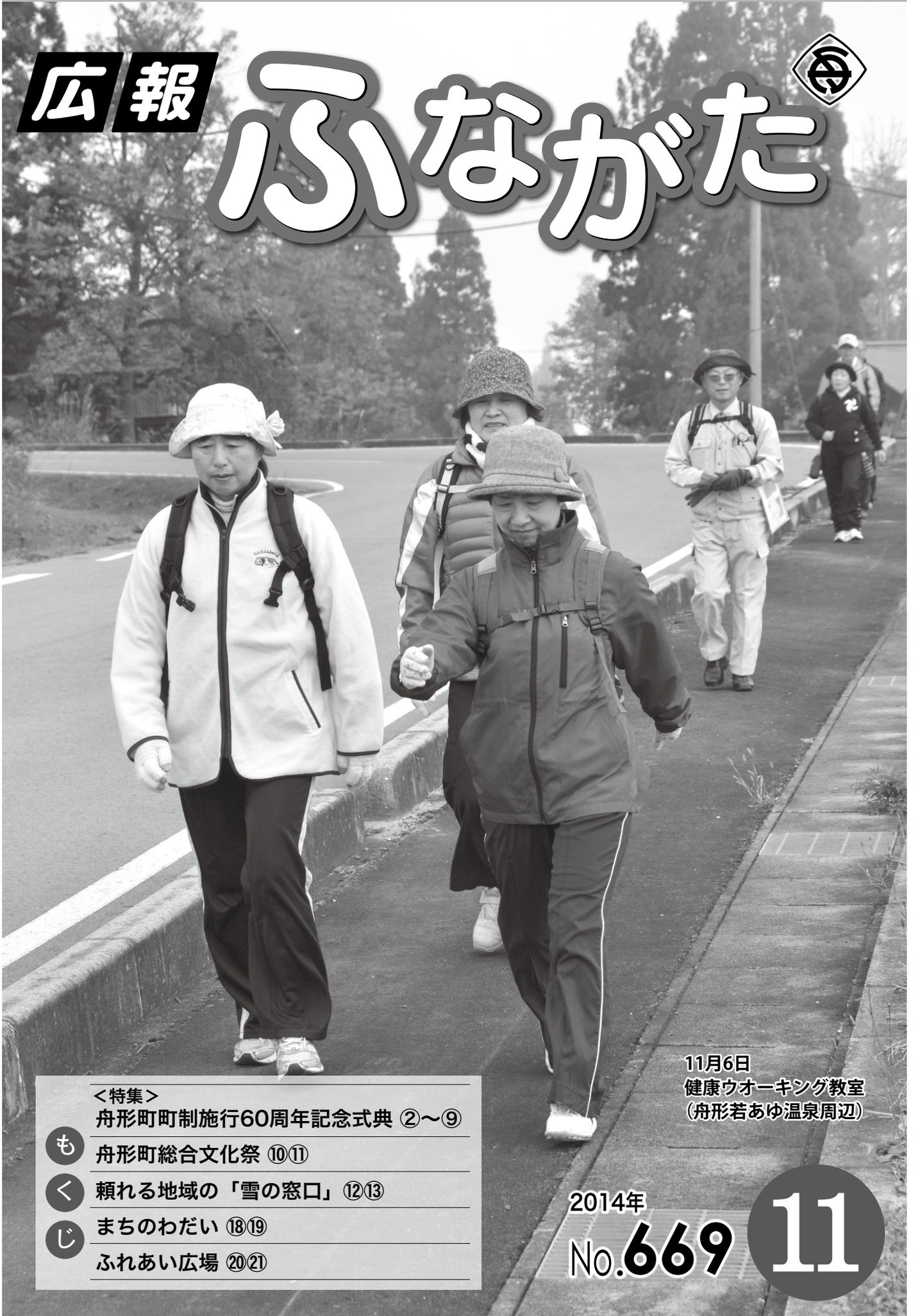


広報

心ながた



11月6日
健康ウォーキング教室
(舟形若あゆ温泉周辺)

<特集>

舟形町町制施行60周年記念式典 ②～⑨

も

舟形町総合文化祭 ⑩⑪

<

頼れる地域の「雪の窓口」 ⑫⑬

じ

まちのわだい ⑭⑮

ふれあい広場 ⑯⑰

2014年

No.669

11



11月1日、「舟形町町制施行60周年記念式典」を舟形小学校体育館を会場に執り行いました。昭和29年12月1日、舟形村と堀内村が合併し、誕生した舟形町。これまで舟形町の振興のために尽力いただいた方など298名の参列のもと、「還暦」となる節目の年をお祝いしました。

式典では、全員で「舟形町町民憲章」を朗読した後、奥山知雄町長が「これまでのまちづくりに尽力された先人のみなさんの揺るぎない情熱と弛みない努力へ感謝し、これからの舟形町の発展と活性化を目指し、創意工夫を駆使したまちづくりにより全力を尽くして取り組んでいきます。」と式辞を述べました。

その後、各分野で町の発展に貢献された方々に特別功労表彰と感謝状を贈呈しました。また、60周年記念事業として開催された「縄文の女神ストーリー大賞」の表彰式も行いました。

オープニングや記念アトラクションでは、園児や児童・生徒たちが演奏や将来の夢を披露。舟形町の未来を担う新しい力を感じました。



舟形中プラスバンド部の演奏



式辞を述べる奥山町長



伊藤和昭氏の受賞者代表謝辞



町民憲章を朗読



ほほえみ保育園児による鼓笛隊



勇壮な若鮎太鼓を披露

舟形町町章



舟形の「舟」を図案化したもので、町の融合と平和を意味し、輪郭はダイヤモンド型地下資源と合せて町の繁栄を象徴した。

舟形町町民憲章

わたくしらは由緒ある珠羽根山、清流小川の町民です。
豊かな自然に恵まれたわたくしらは、健康で心豊かな暮らしをこの町で営むことを定めます。

- 一、ふるさとを大切に、水と緑の美しい町をつくり、心と体を鍛え、健康で明るい町をつくり、仕事にげんみ、活気ある豊かな町をつくり、学問、教養を高め、文化の香り高い町をつくり、五、まじりを守り、心のふれあう町をつくり、

舟形町の自然

わたしたちは、天恵の自然に感謝し、長く愛護するよすがに次のものを選定する。

- 一、まらの木 元んじゅ
- 一、まらの花 こぶし
- 一、まらの鳥 きじばと
- 一、まらの魚 鮎
- 一、まらの色 みずいろ

将来の「夢」

僕が2年生の3月に、東日本大震災がありました。その当時、テレビでは被害の様子や行方不明の方の情報などが放送されていました。そこには、困った人たちを助けている方がたくさん映っていました。中でも、レスキュー隊と自衛隊の方たちが僕には特別輝いて見えました。助けられた人たちが「ありがとうございます」と言っても、「当たり前のことですから」と返していました。「これだ!」と思いました。誇りを持って仕事をしていることが分かります。

悲しい思いをする人が一人でも少なくなるように、人の命を救えるような消防士やレスキュー隊員になること、これが今の僕の夢です。夢の実現に向けて、目の前に立つであろう大きな壁を一つずつ越えていきたいです。



舟形小学校6年 樋渡 駿さん

舟形村と堀内村が合併し、舟形町になって60年。その間の変化や進歩は素晴らしいものだと思います。交通や農産業、生活様式の変化など、その当時の様子を85歳になるひいおばあちゃんからたくさん聞きました。ひいおじいちゃんが役場に勤めていて、合併に関する仕事を夜遅くまでしていたことも聞きました。今の舟形町があるのも今まで支えてくれた方たちのおかげと感謝の気持ちでいっぱいです。この機会を逃さず、町の歴史をもっと勉強したいです。

私は、日本語講師になって外国に日本語を広め、そして、舟形町の良さを世界に伝えることが夢です。そのため外国語を身に付け、将来舟形町の発展に貢献できる人間になれるように努力を重ねていきたいです。



舟形中学校2年 齋藤鈴華さん

歴代町長



5～6・8～9代 澤内甚一郎



3代 星川五郎兵衛



2・4代 奥山與市郎



初代 星川礪太郎



15～16代 奥山 知雄



14代 伊藤 和昭



11～13代 鈴木 勝治



7・10代 沼澤 長吉

▼ 町では今年度様々な記念行事を行なってまいりました。今後は記念誌の発行などを予定しています。

☎ 問い合わせ／町制施行60周年記念事業実行委員会 (32) 2111 (内線231)

1970 (昭和45年)
堀内母子センター落成
最上川堀内築堤落成
過疎地域に指定
猿羽根山観光事業竣工 (大鳥居・休憩所)

1971 (昭和46年)
猿羽根山相撲場落成
町民プール完成オープン

1972 (昭和47年)
山村振興地域に堀内地区認定
新農業協同組合発足
堀内小学校落成

1973 (昭和48年)
青年センター完成オープン
広域消防舟形分署開設
平沢地区山崩れ (奥羽本線20日間余不通)

1974 (昭和49年)
長尾橋竣工
集中豪雨 (被害額約11億円)
町中央公民館落成
町生活改善センター落成

1975 (昭和50年)
重度身体障がい者支援施設「光生園」オープン
奥羽自動車部品工業操業開始 (現在の㈱キリウ山形)

1976 (昭和51年)
集中豪雨 (被害額14億円)

1977 (昭和52年)
町除雪センター完成
町体育協会設立
国道13号舟形大橋竣工

1978 (昭和53年)
町民グラウンドのナイター設備オープン
老人いこいの家「清流荘」オープン

1979 (昭和54年)
太郎野亜炭鉱害復旧事業完成

1980 (昭和55年)
記録的な豪雪 (西又分校積雪285cm)

1981 (昭和56年)
B & G 舟形海洋センター完成オープン
町歴史民俗資料館完成オープン
第1回ふながた若鮎まつり開催
新商工会館完成

1982 (昭和57年)
B & G 舟形海洋センター上屋付プール完成オープン

1983 (昭和58年)
統合中学校開校

1984 (昭和59年)
町保健センター完成

1985 (昭和60年)
町農林漁業体験実習館完成

1986 (昭和61年)
町農村環境改善センター完成
烏川大橋開通

1987 (昭和62年)
国道47号バイパス長尾トンネル貫通
第1回東北鞍馬競技大会開催
長沢あいさつ橋開通



昭和46年 町民プールオープン



昭和47年 完成した堀内小学校



昭和48年 猿羽根山遊園地



昭和49年 新築した中央公民館



昭和50年 近代的な公害防止設備の奥羽自動車部品工場



昭和50年 特殊浴槽などで介護をする寮母 (光生園)



昭和52年 国道13・47号の重要地点、舟形大橋完成



昭和56年 B & G 海洋センターオープン



昭和56年 町歴史民俗資料館オープン



昭和58年 東北鞍馬大会



昭和59年 保健センターオープン



昭和60年 体験実習館オープン

1954 (昭和29年)
12月1日町制施行
人口12,007人 1,989世帯

1955 (昭和30年)
町連合青年団発足
初の町議会議員選挙
三光堰竣工
町連合婦人会発足

1956 (昭和31年)
長沢小学校改築落成
堀内橋竣工

1957 (昭和32年)
舟形・堀内農業共済組合合併
初の町農業委員会委員選挙

1958 (昭和33年)
初の町営住宅15戸完成

1959 (昭和34年)
富長小学校竣工
富長橋竣工
東長沢駅竣工
大平・鼠沢・太郎野・西又各分校竣工

1960 (昭和35年)
猿羽根山国道隧道貫通

1961 (昭和36年)
長尾橋竣工
初の町保育園誕生 (66名入所)
堀内中学校落成
町商工会発足

1962 (昭和37年)
国道47号1級国道に昇格
猿羽根山隧道竣工
初の老人クラブ誕生 (長者原)

1963 (昭和38年)
国道47号道路改良工事竣工
「交通安全都市舟形」宣言

1964 (昭和39年)
役場前十字路に初の信号機設置
震度5の地震に見舞われる (新潟地震)
町衛生組合連合会発足
舟形小学校改築落成

1965 (昭和40年)
町老人クラブ連合会発足
町振興審議会発足

1966 (昭和41年)
長沢小中学校完全給食開始
長者原橋竣工

1967 (昭和42年)
初の町農業振興懇談会開催
洲崎橋竣工

1968 (昭和43年)
舟形橋に歩道橋完成
町消防団が消防長官賞を受章
新町内会「西堀」誕生
役場本庁舎新築落成

1969 (昭和44年)
東京舟形友ノ会結成
町観光審議会発足

ふながた 60年の歩み



本坑撰炭工場 ～舟形駅前貯鉱舎間のエンドレス輸車路



昭和29年 合併を宣言



昭和31年 完成した長沢小学校



昭和33年 完成した町営住宅 (舟形)



昭和34年 完成した富長小学校



昭和36年 猿羽根山隧道開通式



昭和39年 完成した舟形小学校



昭和39年 役場十字路に信号機がお目見え



昭和41年 完成が待たれる長者原橋

2002 (平成14年)

県内初の地域安全条例制定
高齢者生活福祉センター「ゆいの家」オープン
民間介護老人保健施設「舟形徳洲苑」オープン



平成12年 利雪に取り組むわが町で
全国雪サミット開催



平成19年 五橋中教育旅行

2003 (平成15年)

県道舟形大蔵線「西ノ前アンダー」開通
新庄市・舟形町合併協議会発足

2004 (平成16年)

新庄市・舟形町合併協議会廃止
町中央公民館大規模改修工事完成
どぶろく特区に認定



平成20年 ほほえみ保育園スタート



平成22年 ほなみ開所式

2005 (平成17年)

協働のまちづくり本格スタート 9課から5課へ削減
まちづくり審議会を設置

2006 (平成18年)

平成18年豪雪(除雪費1億円超)
地域包括支援センター開設
子どもの予防接種無料化
修学旅行の受け入れ「自然・田舎まるごと体験」始動



平成22年 若鮎まつり30回



平成24年 第1回ヒストリックカーミーティング

2007 (平成19年)

奥山翔太さん(現 琴福寿) 佐渡ヶ嶽部屋へ入門
町議会議員選挙で定数が10議席へ
東京都東麻布と震災避難協定を締結

2008 (平成20年)

東京都港区と交流基本協定を締結
舟形ほほえみ保育園スタート
活気あふれる農業推進機構スタート



平成24年 縄文炎祭



平成24年 大郷町と災害時協定締結

2009 (平成21年)

光ブロードバンド開通
子育て支援住宅「ハイムひだまり」入居開始
舟形若あゆ温泉 第2源泉開湯
縄文の女神が5回目の渡航 大英博物館に展示

2010 (平成22年)

第5回全国どぶろく研究大会開催
最上広域消防署南支署スタート
もがみ南部商工会スタート
地域密着型介護老人福祉施設「ほなみ」オープン
舟形焼き体験工房「薫風窯」オープン



平成25年 まとい受章



平成25年 統合舟形小学校開校

2011 (平成23年)

猿羽根山橋跡の「親杉」が県指定文化財に指定
東日本大震災発生 被災者支援室設置
小中学生の医療費無料化

2012 (平成24年)

第1回ヒストリックカーミーティング開催
第1回縄文炎祭開催
「縄文の女神」国宝指定
宮城県大郷町と災害時相互援助協定を締結

2013 (平成25年)

町消防団が日本消防協会特別表彰「まとい」を受章
若あゆ温泉テラスからの景観が「山形県眺望景観資産」に指定
4つの小学校が統合し新舟形小学校開校
8月4日を「縄文の女神の日」に制定
ゆるキャラ「めがみちゃん」誕生



平成26年 町観光物産センターめがみ
オープン



平成26年 500円記念貨幣発行
オープン

2014 (平成26年)

町観光物産センターめがみオープン
役場本庁舎耐震化工事完成
町結婚サポートセンター開設
縄文の女神をモチーフにした山形県の500円記念貨幣発行
舟形町農林水産物処理加工施設完成
町制施行60周年記念式典

1988 (昭和63年)

長沢小学校新校舎落成
猿羽根山スキー場オープン (ナイター完備)

1989 (平成元年)

町きれいな水づくり推進協議会設立
第4次舟形町基本構想「ハピネスシップふながた」策定

1990 (平成2年)

うと山斎場完成 (舟形町・大蔵村共立)

1991 (平成3年)

猿羽根山トレーニングセンター完成
富長小学校新校舎完成

1992 (平成4年)

主要地方道大石田・畑線 堀内バイパス開通
陸橋「奥羽橋」完成
国道47号 亀割バイパス開通
4,500年前の遺跡発掘 (西ノ前地区)

1993 (平成5年)

医療サービスセンターオープン
主要地方道新庄・村山・次年子線 富田バイパス開通
舟形若あゆ温泉オープン
チャイルドランド完成
第1回スポーツフェスティバル開催

1994 (平成6年)

特別養護老人ホーム「えんじゅ荘」オープン
高規格道路舟形トンネル貫通
「福祉のまち」宣言

1995 (平成7年)

生涯学習センター完成オープン
若あゆ温泉周辺にコテージやテニスコートなどが完成
猿羽根山体験実習雪冷房システム初稼働

1996 (平成8年)

全町に防災行政無線が開局
新富長橋完成

1997 (平成9年)

町のホームページをインターネット上に開設

1998 (平成10年)

舟形小学校新校舎完成
三光堰・大堰・富田の3土地改良区が合併
リサイクルプラザもがみ完成
新生舟形統合中学校第1回入学式
松橋観光わらび園オープン
広域農道「一の関大橋」完成
県民ゴルフ場オープン
「町民憩の親水空間」アユパーク完成

1999 (平成11年)

鮎中間育成施設完成
県内初の交通安全条例制定
国道13号尾花沢新庄道路開通
山形新幹線新庄延伸

2000 (平成12年)

第3回全国雪サミット2000開催

2001 (平成13年)

20年ぶりの豪雪 (堀内小積雪264cm)
農産物直売所「まんさく」オープン
紫山民間宅地造成「パープルエコタウン」分譲開始



昭和63年 猿羽根山スキー場オープン



平成5年 チャイルドランド完成



平成5年 待望の若あゆ温泉オープン



平成6年 50床入所可能な「えんじゅ荘」
オープン



平成7年 あゆっこ村コテージオープン



平成7年 生涯学習センターオープン



平成8年 町防災行政無線開局



平成9年 舟形町を世界に発信



平成10年 鉄筋コンクリート3階建ての
舟形小学校新校舎



平成10年 松橋わらび園オープン



平成10年 県民ゴルフ場オープン



平成11年 尾花沢新庄道路開通
(舟形インターチェンジ)

町制施行60周年記念 特別功労者表彰

平成26年度 自治功労表彰

自治功労

- 伊藤 和昭 (舟形第1)
- 佐藤 勝 (舟形第4)
- 大場 和夫 (長沢第1)
- 佐藤 昭一 (長尾)
- 加藤 憲彦 (堀内)
- 山科 忠昭 (富田第2)
- 加藤 嘉久 (堀内)
- 大場 邦好 (経壇原)
- 渡部 広行 (幅)
- 庄司 洋一 (太折)
- 阿部 勝彦 (幅)
- 東海林幸雄 (洲崎)
- 佐藤 秀人 (舟形第1)
- 伊藤 光信 (野)
- 大場 誠一 (経壇原)
- 龍運山
- 曾根田順一 (富田第2)
- 原田 久雄 (福寿野)

産業・経済功労

- (株)キリウ山形代表取締役
谷村 英一 (舟形町)
- ブナの会21会長
佐藤 和夫 (西堀)

社会福祉功労

- 沼澤紀美子 (舟形第3)
- 社会福祉法人舟和会 理事長
伊藤 宏 (舟形第4)
- 医療法人徳洲会介護老人保健施設
舟形 徳洲 苑
- 土井万佐男 (西堀)
- 原田 政雄 (舟形第4)
- 舟形町老人クラブ連合会

教育・文化功労

- 阿部 太 (幅)
- 芳住 綾子 (東京都世田谷区)

その他の功労

- 前小国川漁業協同組合代表理事組合長
故沼澤 勝善 (舟形第2)

表彰の部

- 永井 努 (東京都世田谷区)
- 長沢 親和 会
- 長沢子ども遊々塾
- 舟形町芸術文化協会会長
木島 静江 (堀内)

感謝状の部

- 八畷 國昭 (長尾)
- 伊藤 信一 (大平)
- 斉藤 覺 (小松)
- 長澤 信雄
- 長澤 郁子 (長沢第2)
- 長澤 修平
- 叶内 公直 (長沢第2)
- 叶内 正一 (長沢第3)
- 伊藤 賢一 (舟形第3)
- 沼澤 伸一 (舟形第3)
- 伊藤 健一 (野)

町制施行60周年記念式典の中で、平成26年度の舟形町自治功労表彰式を行いました。地方自治の振興、産業・経済の発展、学術・文化振興などに貢献された個人や団体を対象に授与される町で最も名誉ある表彰です。



表彰を受ける和田れんさん

縄文の女神ストーリー大賞 女神話 入賞作品決定

～megabana～



4500年前
あの美しい女神の主偶はなぜ創られたのか
どうして舟形町西ノ前の地だったのか
あなたが想う女神誕生のストーリー

《入賞作品》

18歳から82歳まで、全国から寄せられた応募総数127作品の中から、選考の結果、次の作品が入賞しました。

●最優秀賞 (賞金30万円) 1点

「神宿る地に生きる」

和田 れん

●優秀賞 (賞金5万円) 1点

「女神誕生」

岩澤潤一郎

●佳作 (賞金3万円) 2点

「大いなる女神」

山勢 登

「女神の記憶」

岡村 義公

入賞作品は今後、「縄文の女神と町のPR活動」などに活かしていきます。

「神宿る地に生きる」 ～あらすじ～

和田 れん

「神宿る地に生きる」という作品は、清流小国川のほとりで、今から4500年前前に生きてであろう人々とその暮らしを描いた、架空の物語です。

主人公の足往という若者は、土偶をつくるのが好きですが、ムラの長老、「聞こえ様」と呼ばれる老婆は、足往の腕を認めてくれません。また、「聞こえ様」の孫娘の火魚と足往は、お互いに惹かれあいながらも、気持ちはすれ違ってばかり。

そんな二人の恋の行方を軸に、「聞こえ様」やムラの人々との触れ合いを通して、「命が生まれる奇跡」や「自分の果たすべき役割」を学んでいく足往の姿が描かれていきます。

やがて、小国とその一帯を、かつてない大雪という自然の猛威が襲うという予言が、聞こえ様と火魚によってなされます。

ひとりでも多くの命を救うために、足往は、各地に備えを呼びかけて歩き、最後に立ち寄った集落で、余計な予言をしたと逆恨みする男に襲われてしまいます。

ムラの人々によって命を助けられ、大雪をも生き延びた足往は、周囲から祝福され火魚と結ばれます。そして、足往の子を火魚が産むときが近づいてきます。

大いなる自然の前で、人がいかに無力であるかを思い知った足往は、それでもこの地でけなげに生き抜いていく人々のために、みなが少しでも心おだやかに、手をとりあって過ごしていけるようにと、揺るぎない信念をもって「縄文の女神」を創り上げた――。

美しい清流小国川のほとり、舟形に暮らす人々が、かつてこの地で生きた人々のことを、そして今、この地に生きていることを誇りに思えるように。

そんな願いが込められたストーリーです。

▼問い合わせ／「縄文の女神ストーリー大賞」募集実行委員会事務局
舟形町中央公民館 ☎(32) 2246



～第26回芸術フェスティバル～

11月3日、舟形町中央公民館を会場に第26回芸術フェスティバルを開催しました。日頃から練習に励んでいる12の団体が踊りや歌、詩吟、三味線などを披露。約250名の観客からは大きな声援と拍手が送られていました。

～出演～

- 堀内田植踊り保存会
(代表 阿部 勝)
堀内田植踊り
- 幅神楽保存会
(代表 伊藤準悦)
幅神楽
- 猿羽根太鼓保存会
(代表 奥山知雄)
2014 縄文女神
- 山形岳風会舟形支部
(代表 井上壽士)
独吟、俳句連詠、俳句朗吟
俳句・和歌朗詠、近代詩
- 三山正満会(津軽三味線)
(代表 曾根田満)
津軽模様、津軽あいや節、
- 最北歌謡振興会
(代表 溝口好廣)
のぞみ酒、ふたり花、
我慢船、泉州恋しくれ、
峠越え、おもかげ渡り鳥
- 踊り泉会
(代表 木島静江)
木曾路の女、武田節、
紅の舟唄、男舟、
男の夜明け、あばれ太鼓、
人生二勝一敗
- 日舞愛好会
(代表 片桐恵美子)
扇
- 吾妻栄憲会(民謡)
(代表 加藤憲彦)
秋田大黒舞、庄内おぼこ、
置賜長持唄、米沢おぼこ、
秋田おぼこ、新タント節、
隠岐祝音頭、村山馬喰節
- 芙蓉流日本舞踊舟形教室
(代表 芙蓉遥由紀)
お吉、ノラ
- 舟形町千川会
(代表 高橋松子)
峠越え、一声一代
- 舟形ヨサコイ「紅」
(代表 中鉢裕美子)
ヨッシャ来い、ONDO de ソーラン、
知恵っ子よされ、花笠よさこい



の秋

町制施行60周年記念事業

芸術編：舟形町総合文化祭

～総合文化展～

11月7～15日の9日間、舟形町中央公民館を会場に舟形町総合文化展を開催しました。手芸品や絵画、中央公民館主催の各種教室などで制作された作品など計1,022点が展示され、訪れた方を魅了しました。



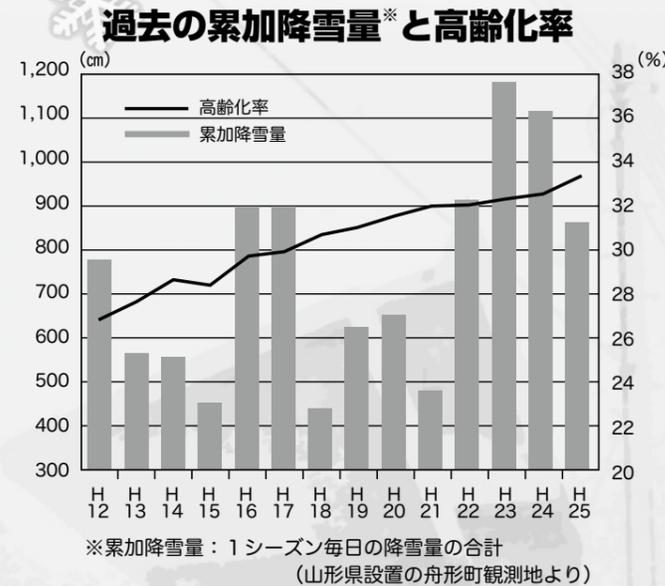
～出展～

- (手芸) 南 恵子、太田和子、大場正江
- ・編み物) 沼澤京子、沼澤 愛、
鈴木博子、戸津幸子
佐藤順子、畠山廣美
長者原趣味の会
- (押し花) 斎藤和子、木島彩乃、
木島優希、木島真紀
- (油 絵) 小野寺 裕
- (日本画) 北野有里子
- (書) 渡辺千代恵、村上孝志
- (刺子) 高橋幸子
- (土器・陶器) 金 寛美、斉藤タケヨ
- (銅板鍛金) 銅板鍛金愛好会
- (わら工芸・細工) 佐藤三重子、渡辺直美
- (その他) 光生園、八楯朝吉、伊藤 寛、矢野哲夫
ほほえみ保育園、学童保育所、舟形小学校、舟形中学校
子育て支援センター「みらい」、習字教室

頼れる地域の「雪の窓口」

地域支え合い除排雪活動支援事業

今年もいよいよ冬がやって来ます。冬期間の生活に欠かせない「除雪作業」は、人口減少と高齢化が進む地域にとってはとても大きな課題となっています。そんな中、地域の方と協働で行なっている「地域支え合い除排雪活動支援事業」について紹介します。



地域支え合い除排雪活動

支援事業の概要

▼取り組める団体

次のことに取り組む町内会組織などであること。

- ①雪に関する窓口組織を設置する。
- ※除雪担当者・町内会長などで構成
- ②町内会内での除雪に関する相談を受けて対応する

▼支援の内容

5万円を上限に「地域の除雪課題」の解決に資する経費を交付。
※対象となる主な経費

報酬（相談窓口に係る通信料などの経費。1万円以内を別途に）、機械の借り上げ料・使用料、人件費、保険料、燃料費、消耗品費、食糧費（作業休憩時の茶菓子代程度）など

除雪機を貸し出しています。

貸出用のハンドガイド式除雪機を農村環境改善センター・役場・生涯学習センターに各1台配置しています。

▼対象/町内会、ボランティア団体等

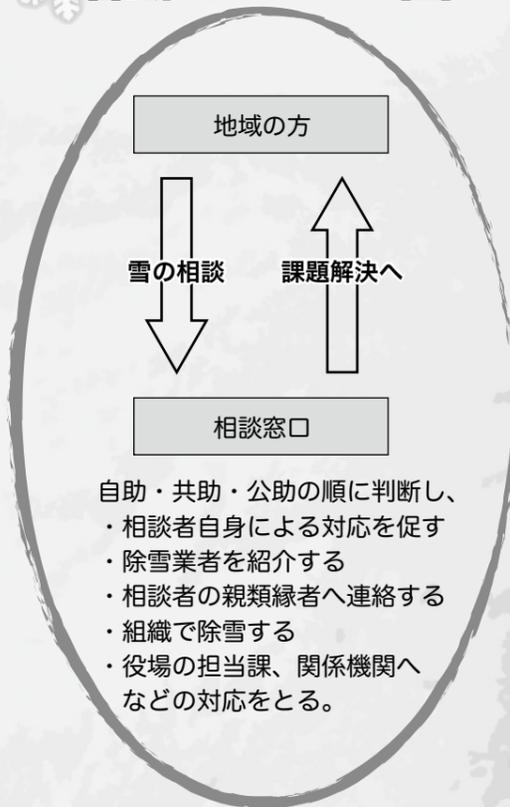
▼貸出条件と料金/貸出は無料。
ただし、燃料費や保険料など使用にかかる経費は自己負担。共助による地域内の除雪作業に使用すること。

平成26年度の取り組み団体

(平成26年10月31日現在)

団体名	相談窓口
野町内会除雪助け合い隊	伊藤 光信
幅町内会	伊藤 準悦
長尾町内会	伊藤 茂
内山除雪支援グループ絆	伊藤 光二
長沢第1町内会	大場 一善
長沢第2町内会	叶内 栄治
長沢第3町内会	高橋喜美男
大平町内会	仲山 力
一の関地域支え合い除雪隊	沼澤 喜一
紫山町内会	八 歙 裕美
舟形第1スノーバスターズ	南 勝雅
舟形第4町内会	佐藤 広幸
太折除排雪支援組合	佐藤 正良
木友町内会さくら会	佐藤 光晴
長者原町内会	豊岡 作雄
福寿野地域コーディネートセンター	奥山 謙三
富田連合町内会	加藤 明夫
瀬崎町内会	安達 忠治
洲崎町内会スノーバスターズ	林 恭司
新堀町内会	板垣 光昭
松橋除雪組合	松井 幸男

活動イメージ図



～昨年度の活動の一部を紹介します～

- 10件の雪による相談を受け、それに対応した。
(町や県への報告や、民生委員さんとの相談後に解決した。)
- 8名の除雪従事者で、高齢者除排雪等サービス*に該当しない2軒の一人暮らし高齢者宅の玄関前を定期的に除雪した。
(親戚などに連絡したが、協力が得られなかったため。)
※65歳以上の高齢者または心身障がい者のみの世帯などの要件を満たす世帯のためのサービスです。
- 雪によって倒壊の危険のあった空き家住宅の除雪をした。
(空き家の管理者に連絡をとったが、対処しなかったため。)
- 26名で地区公民館の除雪を実施。その際の飲み物代にあてた。
(地区公民館が災害時一時避難所であるため。)

町では平成23年度から地域支え合い除排雪活動モデル事業を展開し、昨年度から全町で「地域支え合い除排雪活動支援事業」を行なっています。これは、高齢者世帯の増加などで、冬期間の除排雪が課題となっている中、地域で取り組む除排雪活動などを支援する舟形町独自の制度です。

具体的には、地域で「雪に関する相談窓口」を設置し、除雪に関する相談を受けて対応していただきます。例えば、国・県・町道除雪のこと、空き家の雪のこと、隣家との雪のことなどで地域によって様々です。地域の方が精通しているので、行政が間に入るよりスピードというメリツトがあります。町はその「地域の除雪課題」の解決のための経費を支援します。昨年度は、18の町内会などの団体が取り組みました。

ここで大切なことは、窓口へ寄せられた相談が、自分ですべきことか（自助）、地域で助け合うことなのか（共助）、行政で行うことなのか（公助）の順に判断をして対応していただくことです。

▼申込み・問い合わせ先

舟形町まちづくり課政策推進室
☎(32) 2111 (内線313)

○高齢者除排雪等サービスについて
舟形町税務福祉課福祉国保班
☎(32) 2111 (内線342)

※その他の除雪サービスなどについては広報ふながた「お知らせ版」(12月12日号)をご覧ください。

いつ起こるかわからない“災害”に備えて 舟形町総合防災訓練

10月25日、舟形町総合防災訓練を太折地区（第3分団管轄）で開催しました。今回の訓練は、強い地震の発生による住民の避難誘導訓練や安否確認訓練と、その地震によって火災が発生したことを想定し、情報伝達や消防ポンプ車の出場と正確かつ迅速な操法などを行いました。また、女性消防団「ヴィーナス」の指導のもと、地区住民による消火器を使用しての初期消火訓練を行い、万が一の際に適切な対応ができるように訓練しました。この地区は、日頃から自主防災組織の活動を積極的に行なっている地域で、住民の方々の防災意識も高く、当日も統制のとれた訓練を披露していました。



地域の安心・安全のために“ちから”を 女性消防団員募集

女性ならではの視点を活かして、火災予防や防火、応急手当などの普及啓発活動により、地域に密着した消防団活動をする団員を募集しています。



やる気、根気、パワーで!! 私たちと一緒に活動しませんか? 多数の入団をお待ちしています。

舟形町消防団 本部付部長 大場美奈子さん

- 資格／町内に居住する18歳以上の女性
- 主な活動／・火災予防に関する啓発活動
・応急手当の普及啓発活動
・消防団行事での運営補助
- 処遇／・非常勤特別職の地方公務員です。
・活動服などの必要な被服を貸与します。
・公務災害補償制度が適用されます。

▼問い合わせ／舟形町総務課危機管理室 ☎(32) 2111 (内線231)

まちづくり 私たちの意見を

第5回舟形町中学生模擬議会

10月29日、第5回舟形町中学生模擬議会が舟形町議場で開催されました。

舟形中学校の3年生が、議員(11名)、傍聴者(29名)として参加し、普段の生活で感じていることや改善点などを質問、提言しました。

この模擬議会は、舟形町議会と舟形中学校が、地方自治における議会の役割を学び、議会活動を通して郷土に関心を持ち、まちづくりに参加する楽しさを知ってもらおうと開催しているもので、今年の開催が最後となります。

一般質問と政策提言は次のとおりです。



- 一般質問
- ①町民グラウンドの利活用について
- ②縄文の女神のPRについて
- ③少子高齢化と過疎化の対策について
- ④特産品のPRについて
- ⑤若あゆ温泉の設備と修繕について
- ⑥高齢者支援について
- ⑦中学校耐震化工事について
- ⑧小国川ダムの建設について
- ⑨廃校の跡地利用について



政策提言

「多目的屋内運動場の建設を」

舟形町では、冬期間降雪のため、屋外競技の活動がピロティや体育館へ制限されます。冬期間も他市町村へ行くことなく、町内で活動できるような人工芝の屋内練習場の建設を要望します。日中は高齢者の運動施設、夕方から夜はスポーツ少年団やクラブの練習で有効利用が見込まれます。他市町村への貸し出しも行うことで舟形町の交流人口が増加し、経済発展につながるものと思います。



▼問い合わせ／舟形町議会事務局 ☎(32) 2111 (内線251)

《中学生模擬議会議員名簿》

- | | |
|---------|-------|
| 1番 | 村上 優花 |
| 2番 | 小國 龍人 |
| 3番 | 大場 聖真 |
| 4番 | 岡崎 佳林 |
| 5番 | 齊藤 未滯 |
| 6番 | 伊藤 祥江 |
| 7番 | 八楯 かの |
| 8番 | 宮崎 樹海 |
| 9番 | 佐藤 拓海 |
| 10番(議長) | 加藤 純佳 |
| 11番(議長) | 竹屋 翼 |

Interview ～インタビュー～



6番議員 伊藤祥江さん

私は今回初めて町議場に中学生議員として入りました。模擬議会では、「住みやすい町にするためにはどうしたらよいか」について中学3年生みんなが考え、まとめた政策提言を発表することができました。また、議員の質問や意見に対して町長をはじめ町の課長のみならず、丁寧かつ正確に答えていたのがとても印象的でした。

将来、私たちがこの舟形町の未来を考えていく立場になると思うので、それに対応できるように、勉学に励みたいです。



- ▼申請対象/保護者が仕事や病気などのため、家庭で保育できないと認められる、生後6ヵ月から就学前までの子どもで保育を必要とする方
- ▼認定申請/保育所等利用申込書とあわせて保育の必要性にかかる「支給認定申請書」の提出をしていただき、新たに保育認定(2・3号認定)を受けていただく必要があります。保育認定を受けるには、保育を必要とする事由に該当していることが必要です。利用調整(選考)は保育認定を受けた方の中から行います。

～ご意見募集～

「舟形町子ども・子育て支援計画」(案)に、町民のみなさんからのご意見を募集します。

舟形町のホームページまたは税務福祉課福祉国保班で、この計画(案)をご覧になれます。

みなさんからいただいたご意見を参考にして計画を決定していきます。

◇募集期間: 12月1日～12月26日
◇募集方法: 郵便、ファックス、電子メール等(任意様式)

入所申込みについて

- ▼申込期間/平成26年12月1日(月)～25日(木)
- ▼配布場所/税務福祉課福祉国保班、または町ホームページよりダウンロード
- ▼申込みに必要なもの/
 - ①保育所等利用申込書
 - ②支給認定申請書
 - ③保育の必要性を証明する書類(父母及び同居の祖父母全員分)

区 分	内 容
ア. 就労している方	在職証明書または就労証明書
イ. 求職活動中の方	ハローワークの相談記録等の写し
ウ. 出産する方(した方)	母子健康手帳等(分娩予定日記載部分)の写し
エ. 学校に在学中の方	在学証明書等
オ. 看護・介護をしている方	介護保険被保険者証等の写し
カ. 病気の方	診断書(保育ができないことが明記されているもの)
キ. 身体に障がいのある方	診断書または身体障害者手帳等の写し

- ▼保育料/「保育料徴収基準額表」と国の動向を踏まえ検討中です。
- ▼申込み・問い合わせ/舟形町税務福祉課福祉国保班 ☎(32)2111(内線341)

ほほえみ保育園での子育て支援

- 【未満児保育】**
生後6ヵ月からの児童の保育
- 【障がい児保育】**
心身に障がいをお持ちのお子さんの保育
- 【一時保育】**
家庭の都合により、一時的に保育が困難となった場合に一時保育を実施します。子ども1人が1ヵ月に利用できる日数は10日間です。

- 【舟形町子育て支援センター「みらい」】**
ほほえみ保育園内に、子育てを応援する「支援センター」を設置しています。保育園入園前の子どもと保護者同士の交流と情報交換の場として活用できます。また、園児との交流ができることも大きなメリットです。
- ▼利用時間/毎週月～金
午前9時30分～11時30分
午後3時～4時30分



平成27年度舟形町臨時職員及び公共施設等の日直・夜警員を募集します

[臨時職員・スクールバス運転手]

職 種	登録資格要件	経験年数1年目の基準額	社会保険等加入の有無
一般事務職員	高校卒業以上	日額 6,100円	有
保育士	資格を有する方	月額 154,300円	
保健師または看護師		別途協議	
教育支援員		別途協議	
調理師		日額 6,100円	
保育補助	高校卒業以上	日額 6,100円	
業務員	-	日額 6,100円	
運転手(業務員)	大型免許を有する方	別途協議	無
スクールバス運転手		月額 160,000円	

- 資格要件等……原則として町内に住所があり、通勤できる方。平成27年4月1日現在で60歳未満の方(但し、保健師または看護師は65歳未満の方)・心身ともに健全で、登録資格の要件を満たす方
- 申請手続き……平成27年度舟形町臨時職員登録申請書(総務課に備えてあります)資格を必要とする職種は資格免許の写し、履歴書(A3判、写真貼付)
- 申請期間……12月1日～26日 ○登録有効期間……平成27年4月1日より1年間
- 勤務条件……「舟形町日々雇用職員取扱規程」などによる。
- その他……採用期間はアルバイトはできません。スクールバス運転手は、町との委託契約になります。応募者の状況によって、資格及び年齢要件を変更する場合があります。雇用内容により、社会保険等加入資格が変わる場合があります。

[公共施設等の日直・夜警員]

施設及び職種	勤務時間	金額	年齢要件
舟形町役場	日直 午前8時30分～午後5時15分	日額 6,100円	平成27年 4月1日現在 70歳未満
中央公民館	日直 午前8時30分～午後5時15分	日額 5,400円	
	夜警員 午後5時00分～午後9時00分	時給 700円	
堀内出張所	日直 午前8時30分～午後5時15分	日額 5,400円	
	夜警員 午後5時00分～午後9時00分	時給 700円	
生涯学習センター	日直 午前8時30分～午後5時15分	日額 5,400円	
	夜警員 午後5時00分～午後9時00分	時給 700円	
B&G海洋センター	日直 午前8時30分～午後5時15分	日額 5,400円	
	夜警員 午後5時00分～午後9時00分	時給 700円	

- 資格……原則として町内に住所があり、通勤できる方。かつ心身ともに健全で、登録資格の要件を満たす方
- 申請手続き……日直、夜警員登録申請書
- 申請期間……12月1日～26日 ○登録有効期間……平成27年4月1日より1年間
- ▼申込み・問い合わせ/舟形町総務課総務班 ☎(32)2111(内線231・233)

山ちゃん日記 Vol.32

～ チャレンジ農業実践塾通信 ～



山ちゃんこと
山川指導監

米前払い金の大幅な引き下げや台風18・19号が立て続けに襲来するなど、農家のみなさんにとっては暗いニュースばかりが続き、頭を悩ませているところだ。

さて、今年も5～9月の期間、6名の生産者によって、おかひじきの生産が行われました。その出荷量がこれまでの最高の4,400kgを超え、出荷額は約200万円に上る見込みです。引き続き、ハウスでは小松菜やアスパラ菜を栽培し、年末から年始にかけての出荷に向けてがんばっています。

塾生のみなさんは、さらに栽培技術に磨きをかけ、来年度の栽培作物の出荷量、額ともに増やせるようにと気持ちを新たにしています。

▼問い合わせ/チャレンジ農業実践塾(舟形町産業振興課農政班)
☎(32)2111(内線422)



行者にんにくの収穫



北ブロックの頂点に

わだい④

10月18日、山形県中学校新人体育大会北ブロック大会が開催されました。大蔵村野球場を会場に行われた軟式野球には、北村山・酒田・鶴岡・新庄地区を勝ち抜いた代表4チームが出場。新庄地区を代表して出場した舟形中学校野球部は、準決勝、決勝と1点を争う試合を制し、見事北ブロック大会優勝を果たしました。舟形中学校野球部の目標は、県制覇。これからの活躍に期待します。

なお、ソフトテニス、陸上、卓球、柔道にも出場し、柔道女子の沼澤真緒さんが個人ベスト8に輝きました。

ふながた家族新聞コンクール

わだい⑤

11月13日、第10回ふながた家族新聞コンクールの表彰式が舟形町中央公民館で行われました。これは家族の絆づくりと、考え表現する力を身に付けてもらおうと町教育委員会と山形新聞社、山形新聞舟形専売所が毎年開催しているものです。

舟形小学校の4年生以上の児童と家族が、学年ごとに決められたテーマで制作。その中から優れた作品26点が表彰されました。



11月17日、町道の除雪作業の安全と事故防止を願う安全祈願祭を十二河原河川公園で行いました。大型のロータリ除雪車や除雪トレーなど合わせて13台がずらりと並び、町関係者や運転手ら約30名が参列し、安全を祈願しました。冬の舟形町をよるしくお願いします。



11月15日、B&G会長杯争奪大会バレーボール競技がB&G海洋センターで開催されました。最上地区から参加した計4チームが会長杯を目指し、熱戦を繰り広げた結果、舟形クローバースが3戦全勝で見事優勝しました。今年もクローバースから目が離せません。



11月14日、全国共済農業協同組合連合会山形県支部よりカーブミラーを町に寄贈していただきました。同支部からは、町の交通安全に役立ててほしいと毎年贈っていただけており、町内各地の危険な箇所へ設置される予定です。交通安全のため、大切に使用させていただきます。



「ぐっと! 舟形」ブランドを発表

わだい①

10月26日、舟形町で採れた農産物を加工する農林水産物処理加工施設が富長交流センターに完成し、その落成式を行いました。式には、町長をはじめ町議会議員や伊藤県議会議員、富長地区の町内会の代表の方などが参列し、神事を執り行いました。

この施設で作る加工品は「gout! FUNAGATA」というブランドで商品化し、舟形若あゆ温泉や舟形町観光物産センターめぐみで販売する予定です。※gout(グー)にはフランス語で「味」という意味があります。

小中学校文化祭

わだい②

10月25日、舟形中学校で「咲〜今花咲く僕等のハーモニー〜」のテーマのもと舟友祭が行われ、合唱や3年生による創作ダンスが発表されました。

また、翌日の26日には、舟形小学校で学習発表会「めぐみドリームフェスタ2014」が行われ、各学年による劇や歌など練習の成果が披露されました。



子育て支援住宅上棟式

わだい③

10月24日、舟形ほほえみ保育園の西側に建設する「子育て支援住宅」の上棟式が行われ、町長をはじめ町議会議員の方々が参加しました。

厄災を避けるために行われた「餅まき」に招待された舟形ほほえみ保育園の年長児の子どもたちは、屋根の上から撒かれる餅に大喜び。両手に持ち切れないほど拾っていました。



11月2日、B&G会長杯争奪大会野球競技が舟形中学校グラウンドと農村環境改善センターグラウンドで開催され、最上地区内から6チームを招待して熱戦が繰り広げられました。Aブロックでは舟形ヒックサンワースが優勝。悲願の会長杯を手に入れました。



11月2日、秋季火災予防運動(11月9日～15日)に合わせ、舟形町消防団が防火キャラバンを行いました。消防車両により町内を巡回し、火災の予防を呼びかけました。みなさんで火災予防に対する意識を持ち、「火災0(ゼロ)」を目指しましょう。



10月26日、第4回ふながた新そばまつりが富長交流センターで開催されました。240名もの来場者が、蕎麦会の方々が打った香り豊かな新そばに舌鼓を打ちました。また、この日に落成式を迎えた農林水産物処理加工施設の加工品も振る舞われました。

まちのわだい

舟形町ではホームページを開設しています。中でも「Oh! News」は新鮮な情報が満載。舟形町HP <http://www.town.funagata.yamagata.jp/>

ふれあい広場 VARIETY INFORMATION

あなたの声をお寄せください
まちの話題、疑問、質問、
提言、意見のほか、会員募
集やリサイクル情報（譲り
たい、譲ってほしい）、イ
ラストなど何でも結構です。
広報紙上でできるだけ紹
介しています。

まちづくり課 企画調整班
☎ (32) 2111 (内線313)

12月の納期
◆町県民税
◆固定資産税
12月25日(木)まで
忘れずに納税しましょう。



(質問・要望)
大場 清さん(福寿野)より

12月の舟形若あゆ温泉の
休館日は、10日(水)

タバコは町内で買ひしょう。
9月のタバコ税は1,234,160円

【1】役場からの文書について
役場からの配布物について、多くの町内会では、隣組長が各世帯に配布しています。隣組長は輪番制で回ってくるので、一人暮らしの高齢者の方がする場合があります。また、冬は除雪しながらの配布で重労働となります。そこで次のとおり要望します。町内会長の報酬を隣組長にあげるようにするか、役場職員が土日に配布してはいかがですか。

【回答】
町内会長の役割には2つの

側面があると考えています。
①町内会の地域自治や公益的活動のまとめ役としての仕事を図るための仕事、です。町からは②の仕事に対して報酬が支払われており、その一つとして各戸への文書配達も依頼しているところ。なお、報酬額は、同額の均等割りとして町内会の戸数に応じた戸数割りで積算されます。
文書配達は、町内会長から隣組長を経て各戸へ配布している場合が多いと考えられますが、中には配達員を置いて直接全戸に配布している事例(有償)や、高齢者世帯等で配布が困難と判断される場合は隣組長に任命しないなどの事例もあるようなので、それぞれの事情を踏まえて検討し

ていただきたいと思えます。
(まちづくり課)
【2】町議会の報酬について
定例会は3〜7日で終わるが、1カ月何十万という報酬をもらいます。その期間でそんなにもらう会社はどこにもないので考えてください。
【回答】
議員等の報酬は、県や最上郡内を参考に、報酬審議会で決定されています。年4回の定例会の他、臨時議会や所管事務調査、各種委員会、式典などへの出席、地域における住民のニーズや意見を行政に反映させるための活動も行なっており、多岐にわたっていることをご理解願います。
なお、住民等から報酬が高

○空間放射線量測定結果

測定日/11月7日(金)

測定場所	天候	測定値(μsv/h)	
		0.5m	1m
舟形小学校	曇	0.06	0.06
旧堀内小学校	晴	0.05	0.04
旧富長小学校	//	0.03	0.04
旧長沢小学校	曇	0.04	0.04

○水道水に含まれる放射性物質測定結果

測定日/10月30日(木)

採水場所	ヨウ素	セシウム
舟形町役場	不検出	不検出

～人体に影響はありません～

【3】町臨時職員について
舟形町役場の臨時職員は、今何人いますか？また、私も臨時職員として働きたいので、どのようにしたら働くことができますか。
いとの声によって見直しが必要と判断されれば、報酬審議会で審査していただくこととなります。(議会事務局)

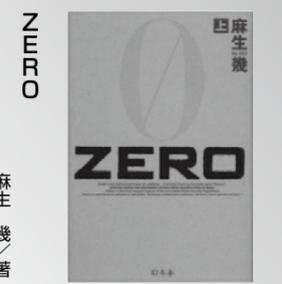
【回答】
今現在、舟形町役場では82名の臨時職員がいます。臨時職員として働きたい場合は、この広報紙の16ページに掲載の募集要項をご確認の上、希望する職種について申込みください。面接試験により選考の上、採用となります。(総務課)

新刊書の紹介

(町中央公民館図書室)



水の出っぱなしや、まだ使える紙をくしゃくしゃばい、と捨ててしまう「もったいないこと してないかい？」と、どこからかやって来るもったいないばあさん。思いやりの心を分かちやすく伝えてくれます。



常に厚いペールに包まれる全国公安警察の頂上に君臨する組織「ZERO」。その存在は国家機密であり、名称を警察内部で口にする事さえ許されぬ。徹底取材が切り拓いた警察の聖域と禁忌。そのすべてを描き尽くす衝撃作。

みどり環境交付金事業

山形県が、市町村で地域における課題に沿って作成している里山再生アクションプランに基づく森づくりに対して、総合的に支援するために交付するのが「みどり環境交付金」です。

- 【対象となる活動等】**
- ①森林・自然環境学習
 - ②自然環境の保全活動
 - ③豊かな森づくり活動
 - ④森林資源の利活用

- 【舟形町での活動事例】**
- ①舟形中学校の生徒が、県産の間伐材を利用した木製ベンチの組み立てを実施。
 - ②長尾町内会と町が町指定文化財の「念仏の松」の保全活動を実施。



【みどり環境交付金事業を活用するには】
町内会などが町と協働で事業を行いたい場合は、ご相談ください。
▼切/12月5日(金)
▼問い合わせ/舟形町産業振興課農政班
☎ (32) 2111 (内線422)

舟形文芸ひろば

短歌

- 雪かつく月山よりの風痛し管を布設す男の顔白む
木瓜の花の会 佐藤景雄(沖の原)
- 見上ぐれど明かり乏し夕空をはばかり声に驚鳴きわたる
木瓜の花の会 佐藤和夫(西堀)
- 二本松人も賑わう佳き日和心も和む菊人形
四季句楽歩 渡部捷一(光生園)
- 【千風会「霜降・小春日」】**
初霜の朝の草木いとすこしづつ空澄みゆ小春日連れて
千風会 森 勝広(舟形第四)
- 老猫のときどき見てる空の果て鳥渡るかな茜さす果て
千風会 畠山ひろみ(木友)
- ソバの実の色づきて刈らるるを待つ小春日のぬくもりに抱かれ
千風会 小野光子(真木野)
- 羽休めの白鳥の声す霜降の朝群れてつひはむ若鳥かこみ
千風会 沼澤千鶴子(鶴陽)(舟形第四)
- 自転車のかごが落葉に埋もれてまるでサイクリングの山道のように
千風会 吉田智子(盛岡市)
- 雁は知るや翼たたむで食む草も潤す水さえ放射能汚染なるを
千風会 景山晃佑(仙台市)
- 俳句**
旧友の葬儀のありて暮れの秋
木瓜の花の会 伊藤良文(舟形第四)
- 旅の窓おちこち美しき柿花火
木瓜の花の会 佐藤孝子(舟形第二)
- 街路樹の影長ながと秋深む
朝の会 岸 良子(長沢第三)
- 巡り来る世に身を置きて紅葉山
朝の会 大場小夜子(内山)
- 老木のつべんまでも蔦紅葉
朝の会 柏木伸子(長沢第三)
- 鮎落つるほどよき昨夜の築の雨
朝の会 佐藤昭子(長沢第二)
- きつちりと姉さんかむり大根干す
朝の会 高橋ふき子(長沢第三)
- 晴れた日に望みて願う文化祭
四季句楽歩 原田正昭(光生園)
- 空青く子ら輝けり運動会
四季句楽歩 後藤ふみ(光生園)
- 風物詩軒下映える柿のれん
四季句楽歩 永沢幸男(光生園)
- 思い出す秋の味覚でおふるを
四季句楽歩 佐藤順一(光生園)
- ゆめりあの秋の草花交流会
四季句楽歩 渡部捷一(光生園)
- 着ぶくれて登校児らの足速く
四季句楽歩 真見七生(舟形第四)
- 白鳥や吾子連れ癒ゆるて最上川
千風会 森 勝広(舟形第四)
- 北海の荒波育ち秋味覚
千風会 毛利良次(埼玉県)
- わびしめば風よふつきれ敗戦記憶
千風会 沼澤鶴陽(舟形第四)
- 敗戦・農地解放のみじめさはわびしく今もふつきれすれ胸痛む
付合句
物売りの声弱々し残暑かな
井上淳子(ローマ在住)
- 爽頼うれし古都の街路樹
井上玲虹(野)
- 秋の空ひこう機雲がきれいだな
井上玲虹(野)
- ほく笑み返す庭の秋桜
井上玲虹(野)
- 乱読も読書のうちや秋灯下
大沼寿生(山形市)
- 衣被よし芋煮たまよし
井上玲虹(野)

10月2日～11月1日届出分

◆ご結婚おめでとう

実 栗屋 矢作 照彦
(米沢市) (大森) 春美

洲 崎 齊藤 健太
(千葉県) (小口) 寿子

西 堀 沼澤 貴宏
(山形市) (三浦) 沙織

◆お誕生おめでとう

長 尾 叶内 遥歩 (靖 裕 理 恵)

戸籍の恋

◆おくやみ申しあげます (世帯主)

野 矢野 清一 66 (昇)

内 山 山崎八重野 91 (和 男)

大 平 高山 清二 84 (一 治)

舟形第4 伊藤サツ子 89 (大屋仁)

富田第2 齊藤 和榮 83 (正 彦)

○掲載を希望される方は、届け出の際にお申し出ください。

人口と世帯

10/31 (現在) 男 : 2,871人 (+3)
女 : 3,005人 (-1)
計 : 5,876人 (+2)
世帯 : 1,904世帯(+3)
()は前月比

選挙人名簿登録者数

(9/2現在) 男性 2,368人 計4,936人
女性 2,568人

ふな こい 舟恋

～Vol.31～

～地域おこし協力隊員のつばやき～

地域おこし協力隊の飯田雅子と宇都木俊昭と出井浩貴です。このコーナーでは、私たちが舟形町の魅力を発見し、地域みなさんにお伝えしていきます。

今月のまちゃ隊員

初めての干し柿づくりに挑戦中！最初、物干し竿につるしたら地面に近くて、近所の猫が興味津々な様子…。結局、雨といの金具に引っ掛けてつるしたのですが、その後、悪天気が続いて部屋干しに…。カビないように焼酎につけたりと試行錯誤しています。今日は久々に晴れて外に出しましたが、無事食べられるようになるかドキドキです！



軒先につるした柿

今月の宇都木隊員

舟形町で取り組んでいる被災地支援。夏にこの取り組みを知りました。その被災地農園で栽培・収穫された野菜を届けに名取市に行ってきました。大震災から3年経った今でも津波の被害がそのままになっていたり、仮設住宅で暮らしている方がたくさんいらっしゃいました。そんな光景を目の当たりにして、まだまだ自分にできることがあるのではないかと考えさせられました。



被災地農園で収穫した野菜

今月の出井隊員

舟形で暮らし始めて1ヵ月。舟形が一番感じたこと…それは星の存在です。とにかく星が多く見えてきれいで、東京では見ることのできない光景でした。もう一つ驚いたのが、県天然記念物になっている富田の「親杉」です。幹からいくつもの枝が力強く出ていて、まるで「千手観音」のような壮大さを感じました。今後は、舟形町内の隠れた名所を発見・紹介していきたいです。



県天然記念物「親杉」

ここでは書ききれない日々の活動や暮らしのこと、想いを綴った日記(ブログ)をインターネットで公開しています。ご意見・応援のメッセージなどをお寄せください。

●飯田雅子ブログ「Earth Dayな日々」<http://www.treep.jp/blog/earthday/>
★宇都木俊昭ブログ「田舎暮らし始めました。」<http://ameblo.jp/toshiaki1007/>
◎出井浩貴ブログ「Funagata Times」<http://www.iju-join.jp/chiikiokoshi/blog/4334/>

総務課 No.355

青いシグナル

年末の交通安全県民運動が始まります！

12月8日(月)～17日(水)まで

【歩行者・自転車利用のみなさんへ】

- ・道路を横断するときは「いつでも、どこでも安全確認」をし、手や旗等で「横断する意思の表示」をしましょう。
- ・夕暮れ時の外出時には「見られて安全」。明るい服装でピカピカ光る夜光反射材を身につけましょう。
- ・自転車は、夕暮れ時には早目にライトを点灯しましょう。

【運転者のみなさんへ】

- ・夕暮れ時には早目にライトを点灯し、前照灯のこまめな切り替えで、ハイビームを活用しましょう。
- ・横断歩道の手前では減速して横断歩行者に備え、横断者がいるときは一時停止し、横断させましょう。

今年の交通事故発生状況

【平成26年10月末現在】

区分	発生件数	増減	死者数	増減	負傷者数	増減
山形県内	5,213	△490	34	11	6,307	△770
最上管内	264	△52	3	△5	314	△98
新庄市	173	△16	3	△2	208	△42
金山町	10	△7	0	0	13	△7
最上町	22	△4	0	△1	27	△1
舟形町	18	△6	0	△1	19	△12
真室川町	13	△1	0	△1	16	0
大蔵村	3	△6	0	0	4	△6
鮭川村	10	△8	0	0	11	△11
戸沢村	15	△4	0	0	16	△19

成人式を迎えました！



豊岡 大地さん(長者原)

家族からのメッセージ

早いものでもう二十歳ですね！自分の夢を現実にしていく君はとても輝いています。これからますます輝いていくであろう君のことを私たちは応援し続けます。

父 隆さんより
母 恵美さんより



2歳頃の大地さん

- ◆現在の職業は？…………… 美容師
- ◆自分を一言で？…………… マイペース、負けず嫌い
- ◆趣味は？…………… 映画鑑賞とスポーツ
- ◆夢は？…………… 地元で自分の店を出すこと
- ◆尊敬する人は？…………… 両親とサロンの先輩
- ◆10年後の舟形町は？…………… 今より活気ある町になって欲しい。
- ◆成人式を終えて一言…………… 今まで育ててくれた両親、家族に感謝し、恩返しできるように一生懸命生きていきたい。

12月13日(土)は、舟形ほほえみ保育園発表会です。

『舟形町の歴史を振り返る』

今年の12月1日に、町制施行60周年を迎える舟形町。その歴史を当時の広報紙とともに12回シリーズで振り返ります。



昭和57年9月
発行
編集兼：舟形町広報委員会
発行人：山形荷札株式会社
印刷所：山形荷札株式会社

新鮮さが受けています 秋・越冬野菜の即売会

十一月十一日、農業選果場で、越冬野菜の即売会が行なわれました。これは、町の農協婦人部と消費者連合会の共催で毎年この時期に行なっているもので、消費者にも大変喜ばれています。

町内で採れた新鮮な野菜を消費者の方々に、普通の市場より安い値段で買ってもらおうというのが主旨で、価格は、あらかじめ、新庄市の青果市場で調査を行い、決めています。

農家の方々は、毎年この時期に出荷する野菜の準備をし、消費者も即売会が開かれるのを心待ちにしています。

毎年来てている人も多く、白菜・大根・セイサイ・長いも・ジャガイモ・ニンジン・漬物・大豆・小豆・ネギ・カブ・柿・キノコなどの中から選び、小型トラック一台分買い込む人、乳母車に詰め込む人、風呂敷に背負い込んでいく人など賑わっていました。山と積まれた野菜も、昼までには、ほとんどなくなりました。もうそろそろ、冬がやってきます。



〔昭和57年の主な出来事〕

●町の出来事

・真見祐臣氏に第7号名誉町民を贈る

・西又分校閉校

・長尾に松原鮎センター完成

・県内初のカーヌー競技長沢で開催

・B & G 海洋センターにプール完成

・町に初の銀行オープン

・(殖産銀行新庄支店舟形代理店)

・長沢地区特産物即売センターオープン

・野に林業センター完成

・西又分校跡地に集会施設完成

・名誉町民 叶内安彦氏逝去

●全国の出来事

・東北新幹線 上越新幹線開業

・テクノロジ、科学ブーム

・大学への進学率が低下

・500円硬貨発行

・ソニーが世界初のCDプレーヤーを発売

・テレホンカード使用開始

・岡本綾子がアメリカLPGAツアーで初優勝(ゴルフ)

・4コマ漫画「コボちゃん」が読売新聞で連載開始

・「笑っていいとも！」が放送開始

丸印に文字を入れてください



雪の相談窓口
～地域支え合い

○○○活動支援事業～

郵便ハガキに、○に入る答えと住所・氏名・電話番号を明記してご応募ください。【メ切：12/12必着】

▼応募先／〒999-4601 舟形町舟形263
舟形町役場 広報ふながたクイズ係
メールからの応募もできます。

舟形若あゆ温泉
協賛

▼アドレス／info@town.funagata.yamagata.jp

※当選者の発表は発送をもって代えさせていただきます。

★広報ふながたクイズ！

「1名様に若あゆ温泉入浴券
(2回分)プレゼント」

表紙の紹介



11月6日、舟形町教育委員会による健康ウォーキング教室が開催されました。ウォーキングに関心のある町民の方など13名が参加し、歩幅や心拍数などに注意しながら、脂肪を効率よく燃焼させるための歩き方を学びました。

